

名まえ)

)

きょうかしよの 100 ページ 101 ページをよんで、
カンガルーの赤ちゃんのようすをかきましよう。

生まれたばかりのようす

うまれたときは、たいへん小さくて、一円玉ぐらいのおもさ。

目も耳も、どこにあるのか、まだよくわからない。

はっきりわかるのは、口とまえあしだけ。

小さなまえ足で、おかあさんのおなかにはい上がっていく。

そして、じぶんの方で、おなかのふくろに入る。

どのようにして大きくなるか

ふくろの中で、おかあさんのおちちをのんで大きくなる。

そうして、六か月ほどたつと、ふくろのそとに出て、

じぶんで草もたべるようになる。